



地球暮らし

地球温暖化防止と
環境共生住宅を考える

第 7 号
発行日 2006.7.20

株式会社さつまホーム企画室
地球やりなおし計画
事務局

ひと段落・・・、でもまだまだ続きますよ、「地球暮らし」

みなさんこんにちは、さつまホームの瀧川です。何やら、こちら大阪は梅雨明け宣言も出ないまま、今年もドカッと暑くなってきましたね。屋外でお仕事している方々は熱中症に気をつけて下さい。

『地球暮らし』も創刊から早や7ヶ月、ご愛読いただきありがとうございます。先月号までで、「地球やり直し計画事務局」として皆さんにお伝えしたいことの概略はひとまずお伝えできました。でも、本当はもっと地球温暖化の問題の根の深さや、真の恐ろしさをわかっていただきたいので、今月号から数回にわたって、これまでお話ししてきた問題のいくつかを掘り下げていく内容でいきたいと思います。



日本列島微速南下中 ~ 温暖化が日本を亜熱帯に連れて行く ~

日 本列島だけでなく、世界中がどんどん赤道に向かって動いている・・・何のことがお分かりでしょうか？地球温暖化の進行に伴う平均気温の上昇が陸地の気候区分に変化をもたらし、より南方の気候に変わっていているのです。つまり陸地が赤道方向に移動していくのと同じ。その速度は年間4kmから6kmとされています。これは実は恐ろしく「危険な」スピードなのです。

大 阪府はこのペースだと50年後には300km南下して今の宮崎県、100年後には実に屋久島の緯度まで到達する計算。もう立派に亜熱帯気候域の仲間入りです。全国屈指のヒートアイランド都市・大阪が屋久島の気候になったら・・・考えただけで恐ろしいですね。それでも人間はまだましでしょう。空調という技術を持っているし、逃げ出すことだって不可能じゃないのですから。本当に被害を被るのは人間以外の動植物です。

動 物も植物も、野生であれば皆それぞれが最も住みやすい気候の地域に住んでいて、逆にいえば、その地域から外れては生存が難しくなります。特に自分で歩けない植物にとって、気候帯移動の影響は深刻です。植物が種子を飛ばせる範囲は通常40m、最長でも2kmとされています。結果、気候帯の移動速度に追いつけず、または南から気候帯を追いかけた別の植物に負けて、絶滅する種が沢山出てくるのです。更に今日の日本において

は市町村域、農耕地、自動車道、人工林などが植生を分断しているため、一般的な植物が移動の経路を確保することはたやすくはないでしょう。地球温暖化が生態系を激変させているのです。

毎 年「桜前線」のニュースに春の訪れを感じるのが日本人です。桜の開花時期は年々大変なペースで早まっています。しかしいつの日か、「桜絶滅前線」の北上が始まるかも知れないのです。



温暖化の影響による気候帯の移動速度は年間4～6km
それに対して植物が種子を飛ばせる範囲は40m～2km
生きるのに適した環境から取り残されてしまいます。

トピック

大阪府が「アドフォレスト」制度開始

府が企業と森林所有者の仲介役になり森林の「里親」となる企業を募る。保全に取り組んだ企業には森林の面積などに応じてCO2削減量を算定、削減実績と認める。

オホーツク海の海氷面積、過去最小

北海道に押し寄せるオホーツク海の海氷の積算面積が今冬、平年の64%の約1651万平方キロと気象庁が観測を始めた1971年以降、最小だったことが判明。同庁海洋気象情報室は「温暖化の影響かどうかは分からない」とコメント。

情報リンク

「地球暮らし」のサイト

バックナンバーを読むことができます。
<http://www.satsumahome.com/weblog/earth/>

Yahoo!Japan「みんなで止めよう温暖化特集」のサイト

<http://event.yahoo.co.jp/ondanka/number/05/>

大阪府アドフォレスト制度のサイト

<http://www.pref.osaka.jp/midori/adopt-forest/adopt-forest.html>

編集後記 バンパイア革命？！

私の敬愛する故・手塚治虫先生の作品『バンパイア』では、バンパイアたちは人間を獣に変えてしまう「マッド=Pa」という薬を使って文明を原始時代からやり直す「バンパイア革命」を企てます。おおっ、これぞまさしく「地球やり直し計画」！・・・て、こわいよ～！

このニュースレターに対するご意見、ご要望、投稿をお待ちしております。

Eメール: info@satsumahome.com
FAX : 06 - 6855 - 7700
郵便: 〒560-0053 豊中市向ヶ丘3-11-47

ステップビル3F (株)さつまホーム企画室
さつまホームは地球温暖化防止に取り組んでいます